

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和元年度第 5 回 高松市行財政改革推進委員会
開催日時	令和 2 年 2 月 17 日(月) 9 時 30 分～11 時 00 分
開催場所	高松市役所 1 1 階 職員研修室
議 題	(1) 第 8 次高松市行財政改革計画 (案) について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記の理由	
出席委員	石川委員、肥塚委員、近藤委員、関委員、竹内委員、西村委員、人見委員
傍 聴 者	0 人 (定員 2 0 人)
担当課及び連絡先	人事課行政改革推進室 8 3 9 - 2 1 6 0

審議経過及び審議結果

会議公開の確認後、次の議題について協議した。

(1) 第 8 次高松市行財政改革計画 (案) について

<主な質疑等>

(委員)

高松市の財政状況や財政調整基金の状況は、令和元年度までしか掲載していないが、数年先までの見通しを掲載することで、市の財政状況や、今後必要となる施策等が市民に理解されやすくなるのではないか。

(事務局)

今後、財政状況を改善するために実施する施策等について、その効果等を正確に予測することは困難であるが、市民に理解していただけるような表現を検討したい。

(委員)

様々な基金等があると思うが、本計画で取り上げている財政調整基金が枯渇すると、財政再建団体になるのか。

(事務局)

すぐに財政再建団体になるということではないが、財源不足により現在実施している各種事業や投資的な事業の実施が難しくなることはあり得る。

(委員)

美術館のような入館料のある施設の運営に関しては、教育的視点など様々な見方があるが、一施設単独で収支がとれるような工夫を行う必要があるのではないか。

(事務局)

ファシリティマネジメントの観点からも、収入増加を意識する必要があると考えている。

(委員)

福祉分野の手当などが充実する一方で、納める税も拡大しており、期待と不安があるが、その方向性について本計画で触れる部分はあるのか。

(事務局)

これまでの御意見も踏まえ、計画冒頭部等で、将来的な展望について記載する必要があると考える。